

第3章 計画の基本理念と基本的な考え方

1 基本理念

本市では、これまでも子ども施策の推進を市政の優先施策として取り組み、すべての子どもや子育て家庭を支援し、「全児童施策」、「ファミリーフレンドリー」の理念を掲げて事業を推進してきました。第四次子どもプラン武蔵野においては、これらの理念を引き継ぎつつ、生涯を通して住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、新たに以下の基本理念を設定しました。

基本理念

すべての子どもが健やかに育ち、未来に向けて自ら力強い一歩を踏み出す力を身に付けることを支えるとともに、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる社会の実現を目指します。

2 基本的な考え方

基本理念に掲げる社会の実現に向けて、以下の3点を基本的な考え方とします。

基本的な考え方1

社会の希望・未来である子ども自身の健やかな育ちを尊重し、保障します。

- ◎子どもの貧困等の環境要因に左右されことなく、すべての子どもの発達を保障し、子どもの利益が最大限に尊重されるよう、子ども自身のニーズを重視した施策を展開します。

基本的な考え方2

家庭の教育力・子育て力を高める環境をつくります。

- ◎父母・保護者には子育てについての第一義的責任があり、また、家庭は教育の原点・出発点であることから、親としての成長を支援する取組みを推進し、子どもの成長に喜びと生きがいを感じながら子育てができるように、子育てしやすい環境の整備を進めます。

基本的な考え方3

地域社会全体で支え合い、妊娠・出産期から切れ目のない子ども・子育てを支援します。

- ◎父母・保護者が子育てについての責任を有していることを前提としつつ、すべての子どもの健やかな成長を実現するためには、地域社会全体で子育て家庭を見守り、支えていく必要があります。行政や教育・保育・子育て支援施設、市民、地域団体・NPO、民間企業など、様々な主体がそれぞれの役割を担い、連携・協力して子どもの健全な育成や妊娠・出産期から子育て家庭と関わっていけるような施策を進めます。

